

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2021年2月)

【内政】

- 4日、1日より始まった大統領選挙の候補者登録が締め切れ、20名の候補者が書類を提出した。(5日、Le Matinal 紙)
- 12日、大統領選挙の候補者登録申請を行った20名のうち、アラッサン・スマヌ(FCBE 党公認、副大統領候補ポール・ウンペ)、パトリス・タロン現大統領(UP 党・BR 党含む5政党の支持、同マリアム・シャビ・タラタ)、コランタン・コウエ(独立系、同イレネ・アゴサ)の3組6名が暫定候補者名簿に登録された。(15日、La Nation 紙)
- 22日、暫定候補者名簿に登録された大統領選挙の候補者3名は、健康診断を受検した後、正式候補者として登録された。これにより、上記3組6名のみが候補者となることが確定した。(23日、La Nation 紙)

【外政】

- 9日、チャンバス国連事務総長特別代表はベナンに訪し、9日、ジョベヌ憲法裁判所長官、10日、タロン大統領と面会した。そこで透明性と信頼性の高い大統領選挙が平和裏に実施されるよう要望した。(10日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- 5日、大統領選挙の候補者登録の申請を行ったガニウ・ソグロ(ソグロ元大統領の子息、元大臣)が、コトヌ市近郊において何者かに銃撃された。捜査は進行中であるが、犯人はまだ特定されていない。11日、同氏はパリに救急搬送された。(8日、La Nation 紙、12日、Le Matinal 紙)
- 24日、オルヌラ政府報道官は記者会見を開催し、大統領選挙プロセスにおける暴力行為及び暴動への呼びかけを阻止すべく、あらゆる措置を講じることを述べた。(25日、La Nation 紙)

【経済】

- 9日、ベナン駐ベナン中国大使とアベノンシ外務・協力大臣は、政府行動計画(PAG)の実施に向けた約42億CFAフラン(約8.4億円)にのぼる経済・技術協力の合意書に署名した。(10日、L'Économiste 紙)
- 17日、津川貴久駐ベナン日本国大使は、草の根・人間の安全保障無償資金にて実施されるケトゥ第3中学校校舎建設計画にかかる贈与契約を実施団体との間で締結した。(19日、L'Événement Précis 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 3日、ベナン人権委員会の代表団はジョベヌ憲法裁判所長官と面会し、次期大統領選挙のプロセスにおいて人権が配慮されるよう要望した。(4日、La Nation 紙)
- ・ 4日、1日より始まった大統領選挙の候補者登録が締め切られ、20名の候補者が書類を提出した。(5日、Le Matinal 紙)
- ・ 11日、大統領選挙における有権者リストが独立国家選挙委員会(CENA)に送られた。有権者数は約552万に及ぶ。(11日、La Nation 紙)
- ・ 11日、在ベナン米国大使館は、ベナン大統領選挙に関する声明において、民主的プロセスを支援することを表明し、治安当局が候補者及びベナン国民の安全を確保するよう求めた。(12日、Le Matinal 紙)
- ・ 12日、大統領選挙の候補者登録申請を行った20名のうち、アラッサン・スマヌ(FCBE 党公認、副大統領候補ポール・ウンペ)、パトリス・タロン現大統領(UP 党・BR 党含む5政党の支持、同マリアム・シャビ・タラタ)、コランタン・コウエ(独立系、同イレネ・アゴサ)の3組6名が暫定候補者名簿に登録された。(15日、La Nation 紙)
- ・ 19日、ヤヤ共和国警察長官は、大統領選挙期間中、すべての警察官が職務に精励し、中立不偏を遵守するとともに、人権と基本的自由を擁護し、あらゆる政治討論から一線を画すよう通達を出した。(23日、Le Matinal 紙)
- ・ 22日、暫定候補者名簿に登録された大統領選挙の候補者3名は、健康診断を受検した後、正式候補者として登録された。これにより、上記3組6名のみが候補者となることが確定した。(23日、La Nation 紙)
- ・ 22日、民主党(Les Democratés)のビオ・ティジャニ第8選挙区調整委員は集団的投票サボタージュを画策しているとの嫌疑により経済犯罪・テロ取締裁判所(CRIET)の召喚を受け、その後身柄を拘束された。(25日、Le Matinal 紙)
- ・ 24日、コウエ候補はアゴサ副大統領候補とともに記者会見を行い、大統領選での勝利に向けた意気込みを語った。(26日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 24日、タロンーシャビ・タラタ陣営では、政党代表及び大統領の個人代表者、総計17名から成る選挙キャンペーン調整チームが設立され、そのメンバーが公表された。(26日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 25日、CENAはくじ引き抽選を行い、統一投票用紙に印刷される3組の候補(氏名、顔写真、ロゴ)の順番を決めた。その結果、上段:コウエーアゴサ候補、中段:スマヌーウンペ候補、下段:タロンーシャビ・タラタ候補となった。(26日、La Nation 紙)
- ・ 25日、スマヌ候補(ウンペ副大統領候補)を擁する FCBE 党は決起集会を開催し、自らを穏健的野党と位置づけ、政権の獲得を目指すことを確認した。(26日、Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 4日、ベナンとドイツは政府間協議を開催し、両国の協力関係について協議した。ベナン側からは、保健大臣、中小企業大臣、エネルギー大臣、農業大臣、生活環境大臣、法務大臣、地方分権大臣、鉱山大臣が出席した。(5日、La Nation 紙)
- ・ 6～7日に行われた第34回 AU 定例会(ビデオ会議)にアベノンシ大臣が参加し、ベナンにおける芸術・文化・遺産の活用について語った。(8日、La Nation 紙)
- ・ 9日、チャンバス国連事務総長特別代表はベナンに来訪し、9日、ジョベヌ憲法裁判所長官、10日、タロン大統領と面会した。そこで透明性と信頼性の高い大統領選挙が平和裏に実施されるよう要望した。(10日、La Nation 紙)
- ・ 11～12日、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)は選挙前ミッションをベナンに派遣し、政治関係者らと面会し、選挙が平和裏に実施されるよう要請した。(15日、La Nation 紙)
- ・ 23日、ウワタラ・コートジボワール大統領の特使フランソワ・アミシア都市大臣は、タロン大統領を訪問し、3月に実施されるアフリカサッカー連盟の選挙に関するメッセージを伝達した。(24日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- ・ 2日、ラフィア内務・治安大臣は、暴力的過激主義の予防のための国家戦略を強化すべく、UNDP とともにセミナーを開催した。(3日、Le Matinal 紙)
- ・ 5日、大統領選挙の候補者登録の申請を行ったガニウ・ソグロ(ソグロ元大統領の子息、元大臣)が、コトヌ市近郊において何者かに銃撃された。捜査は進行中であるが、犯人はまだ特定されていない。11日、同氏はパリに救急搬送された。(8日、La Nation 紙、12日、Le Matinal 紙)
- ・ 18日、EUとの協力により治安維持制度の強化を進めるヌアティン国防大臣は、ハートレイフ駐ベナンEU大使らとハイレベル会合を開催し、地域に広がる脅威への対応策について協議した。(19日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 20日、ウンベジ大統領府報道局長は、保健分野の改革として、1,500にのぼる違法な保健施設や薬局を閉鎖したことを発表した。(24日、La Nation 紙)
- ・ 24日、オルンラ政府報道官は記者会見を開催し、大統領選挙プロセスにおける暴力行為及び暴動への呼びかけを阻止すべく、あらゆる措置を講じることを述べた。(25日、La Nation 紙)
- ・ 28日、ウンパティン保健大臣は、新型コロナウイルスのワクチンを数週間以内に入手する段取りが完了したことを公表した。同時に、同大臣は19日時点での累計患者数が5,434名(死者70名)であることにも言及した。(3月2日、Le Matinal 紙)

【経済】

- ・ 5日、産業の集積地となるべく構想されているグロ・ジベ経済特区の工事が始まった。特区設置の目的は、カシューナッツや綿花等の加工を行い、輸出を促進する地域となることである。(8日、L'Économiste 紙)
- ・ 9日、ベン駐ベナン中国大使とアベノンシ外務・協力大臣は、政府行動計画(PAG)の実施に向けた約42億CFAフラン(約8.4億円)にのぼる経済・技術協力の合意書に署名した。(10日、L'Économiste 紙)
- ・ 17日、津川貴久駐ベナン日本国大使は、草の根・人間の安全保障無償資金にて実施されるケトゥ第3中学校校舎建設計画にかかる贈与契約を実施団体との間で締結した。(19日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 23～24日、ベナン経済社会評議会の2021年第一回定例会が開催され、国民の生活環境の改善、農業ビジネス、経済開発とスポーツ等について協議した。(24日、La Nation 紙)

【文化・その他】

- ・ 10日、アリボリ県バニコアラ市において、村に闖入した象2頭が人間を襲い、牛飼いの男性1名が負傷し、女性1名が死亡した。(12日、La Nation 紙)
- ・ 18日、国際サッカー連盟(FIFA)は、今月のFIFAランキングを発表し、ベナンは世界で82位、アフリカ諸国内で16位に位置づけられた。(22日、La Nation 紙)
- ・ 19日、コジア・リトラル県知事は、リトラル県内でも水たばこの喫煙と販売を禁止する県条例を採択した。同県条例は、ボルグ県、プラトー県、ウエメ県、コリーヌ県、ズー県、アトランティック県、モノ県に続くものである。(26日、Le Matinal 紙)
- ・ 25～26日、修士号取得のための国家試験が高等教育・科学研究省により開催され、620名(うち男性397名、女性223名)が受験した。(26日、La Nation 紙)